



トンネル工事（峠下）明治40年

留萌市史……その⑤

留萌への気笛一声

は明治四十三年

その後、山下良実が四代町長に就任し、大正二年七月から大正六年七月までの任期満了までの四か年間留萌町発展に努力した。

この当時（大正元年）の役場吏員を見ると町長一、収入役一、書記八、書記補九、土木技士一人の計二十人であった。

当時、鉄道開通と同時に築港の工事が行なわれ一番活気のあった時代で町勢も整い、留萌地方の行政、産業の中心地として発展しようとする躍進期であった。

また、増毛支庁が廃止され留萌支庁となったのも、大正三年九月であった。

改修、新市街地区画設定などの問題解決に努力した。

また、野本町長も留萌町の発展を期し、留萌百年の計をたてたといわれている。

さて、野本町長が就任してから水道が完成し、中学校が建設され曲りくねった留萌川を整理し、市街地の区画割がされた。

この仕事のため、当時二百五十万円（昭和三十五年ごろで十億円近く）の大金を借入れたが、野本氏の腕前も相当なものだが、貸した保険協会も大した度胸といえるでしょう。

元来野本治平は、自ら希望して町長になったというよりは、宰相原敬のお声がかかりでやってきたという方が適当であろう。

また、原敬の留萌築港への熱意は、古く内相時代からの因縁で「家の子」といわれる。

内閣書記官高橋光威の配下であった野本町長は、代議士を棒にふる留萌にやってきたのである。

したがって、やることは「型破り」といわれることが多く、具体的な目途がついた大正十年には留萌を引きあげてしまった。

大正十年十月に、七代町長として荒木正澄が就任した。

春の行楽シーズ

ンとともに、ようやく今月はなどが留萌市内にも花見できるようになっています。

ところが、例年この時期になると増えてくるのが「暴力事犯」です。

ちょうど、この季節は、少年たちにとっても、長い

冬のあとで解放的になるせいもあり、中には暴力団の予備軍的な存在となることも少なくありません。特に行楽地や催し物の開かれる場所での酔客による小暴力、暴力団によるゆすり、たかりなどが多くなるのです。

今日は「春の暴力追放運動強調月間」です。また、市民の方は、どんな小さな暴力事でも、見たり聞いたりしたときは、勇気をもって警察へ届けてください。



留萌から追い出せ暴力

にとっても、長い

冬の間で解放的になるせいもあり、中には暴力団の予備軍的な存在となることも少なくありません。特に行楽地や催し物の開かれる場所での酔客による小暴力、暴力団によるゆすり、たかりなどが多くなるのです。

今日は「春の暴力追放運動強調月間」です。また、市民の方は、どんな小さな暴力事でも、見たり聞いたりしたときは、勇気をもって警察へ届けてください。

〔町勢〕 明治四十年四月一日の一級町村制の施行後、翌四十四年六月十二日には、道庁告示三七五号により待望の町制が施行された。

ときの人口は、前年に三泊村と合併し、戸数二千四百五十二戸、人口一万四千三百四十六人を数え、多年の念願であった留萌築港建設がほぼ決定をみ、また国鉄留萌線の敷設工事中であり、留萌町は道北の躍進都市として注目されつつあった。

町長には、村長であった石沢兵吾が引き続き初代町長として就任助役 阿部金松、収入役 木下三郎がそれぞれ引続き就任した。

また、最初の町会議員も、一級町村制時代に選出された村会議員二十名が町会議員となった。

その後、明治四十三年五月三十一日から六月一日にわたり、町会議員の半数改選が行なわれ、五十嵐徳太郎ら二十名の議員が決つたのである。

また、同年八月十日、第四期道会議員選挙が行なわれ、三人が立候補、大賀政次郎、小野寺喜兵衛が当選し、留萌町出身の出田平馬

はおしくも敗れた。

しかし、四十四年五月、大賀政次郎の死亡により補欠選挙が行なわれ、出田平馬が当選した。

この年には、留萌築港が第一期拓殖計画に組み入れられ工事が始められた。

また、国鉄留萌線が十一月に完成し、留萌町民の歓呼の中に、第一列車が迎えられた。

大正元年・役場

吏員は二十人

明治四十四年三月十六日には、石沢兵吾町長が退職し、一時助役が町長事務取扱いとなり、同年五月二十二日、道庁推薦の早坂精一郎が二代目町長となった。

しかし、早坂精一郎は満一年にも満たない翌三月三十一日に退職したため、六月には三代町長として中原郡一郎が就任し、助役には伊集院佐一が就任した。

ところが、中原町長も満一カ年後の大正二年六月一日、現職のまま死亡した。

町百年の計を たてた野本町長

大正六年十一月に福岡幸吉が五代町長として就任したが、翌七年十月に退職した、八年三月、大物町長といわれた野本治平が六代自町長として就任した。

当時の内閣書記官高橋光威、道庁長官笠井信太郎の推薦で野本町長を迎え、町議会は築港の速成、沿岸鉄道の敷設、留萌川の